

様式第2号（第8条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和元年度 第1回 加須市渡良瀬遊水地利活用推進委員会
開催日時	令和元年7月22日（月） 午後1時30分から午後2時35分まで
開催場所	加須市役所5階 502会議室
議長氏名	服部 勝良
出席委員	服部勝良、松林秀樹、宮崎悟、村上正吾、藤原彰、市川邦夫、奈良和哉、柿沼登志子、増田貴夫、煙山博貴、的場博明
欠席委員	眞中紀、須永伊知郎、荒木健二
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状の交付 3(1) 委員長あいさつ (2) 市長あいさつ 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> 1) 渡良瀬遊水地中核施設等一体的管理（指定管理）の経過について 2) 「渡良瀬遊水地利活用推進計画」の事業の進捗状況について 3) 指定管理開始後の渡良瀬遊水地利活用と今後の展開 5 閉会
会議資料の名称	<p>資料1 加須市渡良瀬遊水地利活用推進委員会設置要綱</p> <p>資料2 渡良瀬遊水地中核施設等一体的管理（指定管理）の経過について</p> <p>資料3～3-1 加須市渡良瀬遊水地利活用推進計画進行管理調書のまとめ</p> <p>資料4～4-2 指定管理開始後の渡良瀬遊水地利活用と今後の展開 指定管理開始後から現在までに取り組んだ項目 道の駅かぞわたらせ運営状況</p>

会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	なし
説明者の職・氏名	環境安全部：部長 江原 和弘 環境政策課：課長 矢澤 利夫、主幹 金久保 栄子 北川辺総合支所地域振興課：課長 武澤 昌代 北川辺総合支所農政建設課：主幹 前島 勝己
事務局職員職・氏名	環境安全部：部長 江原 和弘 環境政策課：課長 矢澤 利夫、主幹 金久保 栄子 主査 小林 貴夫 政策調整課長：課長 宮寄 秀樹 シティプロモーション課：課長 増田 浩之 商業観光課：主幹 齋藤 一実 まちづくり課：課長 栗田 裕司 治水課：課長 清谷 尚充 北川辺総合支所地域振興課：課長 武澤 昌代 北川辺総合支所農政建設課：主幹 前島 勝己 生涯学習課：課長 細田 周作 スポーツ振興課：課長 石川 達雄
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	なし

様式第 3 号 (第 8 条関係)

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局(金久保環境政策課主幹)	1 開会
市長	2 委嘱状の交付 ・ 藤原 彰 委員 市川 邦夫 委員 煙山 博貴 委員 的場 博明 委員
服部委員	3(1) 委員長あいさつ
市長	3(2) 市長あいさつ
服部議長	4 議事 <u>(1) 渡良瀬遊水地中核施設等一体的管理(指定管理)の経過及び今後のスケジュールについて</u>
事務局説明 (資料 2 説明 矢澤環境政策課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 2 渡良瀬遊水地中核施設等一体的管理(指定管理)の経過について を使用して説明。 <p>質問等なし</p>
事務局説明 矢澤環境政策課長 うち、資料 4-2 の説明 前島北川辺農政建設課主幹	<u>(2) 渡良瀬遊水地利活用推進計画進行管理の事業の進捗状況について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 3、3-1、資料 3 参考 進行管理調書のまとめ を使用して説明。 <u>(3) 指定管理開始後の渡良瀬遊水地の利活用と今後の展開</u> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 4、4-1、4-2 「指定管理開始後の渡良瀬遊水地の利活用と今後の展開」、「指

定管理開始後から現在までに取り組んだ項目」、「道の駅の運営状況」を使用して説明。

質疑応答

奈良委員

資料4-2について

- ・2の実績の表中 平成30年度でみると、487人に365日を掛けると、道の駅の来場者数になるのでしょうか。

前島北川辺農政建設課主幹

表の見方はその通りです。表は1日あたりの人数ですので、1年分を掛ける考え方です。ただし、年末年始の休館がありますので、357日を掛けると、令和元年度の来場者数の想定をすることができることとなります。

また、この人数は、あくまでもレジ通過者となります。人数の把握をできるものがレジしかないため、この数字を計上していますが、実際は、買い物をされない方もいらっしゃいますので、その方を含めると、来館者数はもっといることとなります。

奈良委員

人数が凄く増えていると感じました。今回、道の駅のスポットとして、ハートのオブジェを作ったりして取り組まれています。クラウドファンディングについては、予定がないようですが、理由をお聞かせください。また、恋人の聖地として選定されて売り出していきたいのであれば、婚活のようなイベントことができればいいのではないかと思いますがいかがでしょうか。

矢澤環境政策課長

クラウドファンディングについてのご質問ですが、いろいろな事業に対して、様々な人に財源などの協力いただくことで、計画の中で取組項目となっております。指定管理が今年度から始まったところであるのと、今後4市2町での連携を含めて考えていかなければならない事業と認識していますが、今のところ具体的に何か検討する段階にまで至っていないという状況です。今後は連携等を含めまして、可能かどうかこれから検討していきたいと思っております。

武澤北川辺地域振興課長

恋人の聖地の件のご質問ですが、遊学館の屋上にハートのオブジェができたことで、多くの皆様にお越しいただいております。カ

ツプルがここをめざしてお越しいただいていると把握していません。まだ具体的な話にはなっていませんが、遊学館の2階に広いスペースがございます。このスペースを活用して、婚活のパーティーのようなものができたらいいのではないかという意見も頂戴しています。アイデアとして伺っておりまして、指定管理者にもお伝えして、実現に向けて動き出せばいいと考えております。

奈良委員

河川敷などで野球やサッカーができるといいのかなと思います。そうすると、人がもっと集まるともって観光する機会が増えると思います。意見としてお願いします。

藤原委員

渡良瀬遊水地のあの広いエリアを活用して何ができるだろうと考えると、やはり、ウォーキングやサイクリングなのかなと思いました。資料を見ると、ウォーキングガイドやサイクリングガイドの配置が取組みの項目となっていますが、「やや遅れている」となっていますが、是非、お願いしたいと思います。

また、野外フェスティバルもいい案だと思っていますが、これも「やや遅れている」となっています。それなりの有名なミュージシャンが来ないと難しいとは思いますが、1回大きなイベントを実施して実現したら、毎年爆発的に人が集まるのではないかと思いますので、是非ともお願いしたいと思います。意見としてお願いします。

金久保環境政策課主幹

ボランティアガイドにつきましては、現在、栃木市・板倉町・加須市で共催して育成をしているところですが、計画にあるとおりのウォーキングやサイクリングに特化したガイドの養成につきましては、なかなか難しい状況でございます。頂戴したご意見については、可能な範囲で反映させていきたいと考えております。

また、イベントの開催につきましては、国土交通省の占用の件もでございますので、条件等を確認しながら、可能な範囲で進めていければと考えているところです。

柿沼委員

ハートのオブジェは素晴らしいと思います。私は加須市の結婚

武澤北川辺地域振興
課長

相談委員なのですが、集いを開催するには場所が必要となります。会って食事をする場所が必要となりますので、遊学館の下の場所を使うことができるのでしょうか。

婚活のパーティーということですが、3階のフリースペース全体を占有して活用するのは難しいと思いますが、2階のスペースは、皆さんの休憩所となっておりますので、指定管理者との打ち合わせの機会を設けさせていただきたいと思います。また、場所だけではなくて、料理などをどうするかという問題もありますが、場所はとても良い所だと思いますので、指定管理者にお伝えさせていただきたいと思います。

宮崎委員

計画の全123事業のうち、平成30年度は10事業が「大幅に遅れている」となっていますが、私が所属している、アクリメーション振興財団でお手伝いできることがあればと思ひまして、質問をさせていただきます。資料3-1の82番「渡良瀬エコスクール」については、長期の取組みで、来年度が目標年度となっておりますが、現段階でこれから具体的に考えていることがあれば参考に教えてください。

金久保環境政策課主
幹

今年度、市では、アクリメーション振興財団さんと毎年取り組んでいらっしゃる、「夏休み宿題サポート」がとても人気があるとお聞きしておりますので、その加須市版を、夏休み期間である、8月17日に開催を予定しています。今回はアクリメーション振興財団さんから、材料を購入し、機材をお借りして、「紙すき体験」を実施します。現時点では、今年度が第1歩ということになりますので、次年度何かできないかなというのは、模索している状況です。今後御協力いただけるようでしたら、アクリメーション振興財団さんとも一緒に取り組ませていただけたらと考えています。

宮崎委員

敢えて市外の小学生対象となっておりますが、市内の方でも参加できるという解釈でよいですか。

金久保環境政策課主
幹

委員さんのおっしゃる通りです。市外小学生となっておりますが、多くの方に来ていただき、参加いただきたいと思いますので、

市内・市外を問わず、参加していただきたいと考えています。

「資料4-2」を見る限りでは、拠点・人を引き付ける場所ができて、順調なスタートができたのかなと拝見しました。一方で、「資料3」では、「やや達成できなかった」となっていて、「資料3-1」の詳細を見ていくと、この項目が着実に実施されてくると、この地域にやってくる方は増えるだろうと思われます。現時点で「はとバスツアー」が組まれる状況にあると、既に、広い範囲、首都圏範囲までは広まっているのかなと思います。

現在は、平成30年度と令和元年度の比較しかできないとは思いますが、この後、どのような展開になるか分かりませんが、少し大きな話をする、観光地を立ち上げた時に、その後に問題になるのが、適正な受け入れ規模をどう設定していくのかということになります。ここは関係自治体も多く、ステークホルダーもかなりあるかと思えます。一方で、ラムサール条約湿地登録の地であるので、環境保護も考えなければならない。身近な例を挙げると、「尾瀬」があります。知名度が上がれば上がるほど、人も増えて、入ってはいけないところに人が入っていくなど、人の目が届かない状況が起こってくる可能性が高まります。

この計画の進捗状況は、現時点では「やや遅れている」わけですが、計画の事業を進めていった時、さらに広範囲の人が来るようになった時に、先々、どれくらいの人だったら受け入れられるのか、限界を超えてしまった場合、どのようなことになるのかという問題が起こってきます。

地域活性化の理念としては、人が集まるのは理想的ですが、順調にいけばいくほど問題となる。外国人が増えた京都や鎌倉などの観光地は、想定していなかった外国人が来て、ごみを捨てたり、勝手に写真を撮って SNS にアップするなど、日常生活が段々悪くなっていく問題が起きています。

ここも、ラムサールの自然遺産を売りにすればするほど、人が増えてきた時の環境破壊のズレが出てきます。

これらのことを考慮していくと、観光スポットして人を集めようとしているのは、当然のことですが、最終的に着地点をどのよ

うに設定しているのか教えてください。まだ序盤ですので、そこまで設定していないかもしれませんが、中盤になったときに設定する予定はあるのかなど、方向性があれば教えてください。

先ほど、関係する自治体と今後について協議する会議を設けているとお聞きしていますし、利根川上流河川事務所も関わっていて国の考えもあるかと思しますので、現時点の方向性等をお聞きできたらと思います。

非常に多くの事業がある中で、「やや達成できなかった」との評価であるので、明るい展望が見えてきたからこそ、逆にまずい状況になった時のシナリオをどのように考えているのか、もしお考えがあれば教えてください。

矢澤環境政策課長

現在、4市2町の協議会を設置しているわけですが、利根川上流河川事務所も含めて、どのようにしたら人がやってくるか、リピーターを増やすかというところに、まずは視点をおいております。

ご質問の、どのくらいまでが受け入れ可能かという件につきましては、議論までに至っていないのが現状です。まずは、人に来ていただくことを考えていますが、ただ自然破壊は両刃であることは認識しているところです。

おっしゃるとおり、自然破壊を食い止める方法としては、例えば、レンタサイクルを活用するなど、環境に配慮した乗り物を活用するなど、将来的にはいろいろな選択肢があるのかと思います。

現時点では、利根川上流河川事務所を事務局として、展開されている、ツアーの開催など、まずは、4市2町連携をして人を呼び込むことに重きをおいておりますので、その先までは今のところ検討していない状況です。

江原環境安全部長

松林副委員長がおっしゃるとおり、一番の大きな課題かと認識しています。

一つの自治体だけでは、対応できない問題ですので、4市2町で連携を組んで「観光的」な部分、反対の「自然保護」の部分について、資源を有効に活用していくことが必要になります。

先日、関係団体が出席する、シンポジウムがありまして、参加しましたが、その中でも大きなポイントとされたのが、広域的な連携がまずは必要だろうということでした。

受け入れのキャパシティーについてですが、この計画を策定した当時は、年間100万人が訪れているとの把握をしていたわけですが、これを増やしていこうという考えがあります。具体的に何人という設定はありませんが、4市2町6団体で、増やしていこうという「観光的」な部分と「自然を守っていこう」と考えを持っています。

小山市では、「コウノトリ」の生息に力を入れていて、コウノトリの保護対策に力をいれていますが、一方でその横から、ドローンでコウノトリの写真撮影する観光客が後を絶たないとお話をいただきました。

したがって、副委員長からのようなご指摘の件も今後出てくるかと思えます。

今日の調書の評価は、スタートのもので、加須市だけのスタートの評価になります。今後は、広域連携での取組みが一番のポイントになってくると考えています。

また、藤原委員さんからご意見いただきましたが、観光でサイクリングやウォーキングなどの具体的な施策をそれぞれの市町で取り組んでいますけれども、かたや西側の栃木・加須・板倉では連携していて、一方では東側の小山・古河・野木で連携しているものの、この4市2町でも東西で分かれてしまっている状況があります。この件もシンポジウムで、自然保護団体も含めて4市2町全体で連携していこうという話がでたところで、広域連携が一番のポイントになってくると考えています。

他に意見等なし。

本日の議事は全て終了しました。
皆様御協力ありがとうございました。

服部委員長

事務局(金久保環境政
策課主幹)

服部委員長には、議長としてスムーズな進行に努めていただき
まして、ありがとうございました。

また、委員の皆様におかれましては、貴重なご意見頂きまして、
ありがとうございました。

以上をもちまして、令和元年度第1回加須市渡良瀬遊水地利活
用推進委員会を閉会とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

5 閉会

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。(注)

令和元年8月5日

署名

服部 勝良

(注) 特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。